

2017年6月2日
イオン株式会社
イオンアグリ創造株式会社
イオンリテール株式会社

**農林水産省 次世代施設園芸導入加速化支援事業
6/4（日）次世代施設園芸埼玉拠点（イオン埼玉久喜農場）よりトマトを本格出荷**

イオン株式会社の連結子会社で農産物の生産供給を担うイオンアグリ創造株式会社（代表取締役社長 福永 庸明）は、6月4日（日）埼玉県久喜市に大玉トマトの生産に特化した次世代施設園芸埼玉拠点（イオン埼玉久喜農場）から、いよいよ本格出荷を開始することとなりました。

同拠点は、農林水産省の次世代施設園芸導入加速化支援事業の1つで、2014年に埼玉県と久喜市、イオンリテール株式会社とイオンアグリ創造株式会社の4者によって埼玉次世代施設園芸コンソーシアムを発足し、2015年にJA全農さいたま、埼玉次世代施設園芸トマト研究会が加わり、今日まで準備を進めてきました。

次世代施設園芸導入加速化支援事業は、先端技術と販売力を融合させ、木質バイオマス等の地域資源エネルギーを活用するとともに、生産から調製・出荷までの施設の大規模な集約化やICTを活用した高度な環境制御を行うことにより、低コストな周年・計画生産を実現し、農業者の所得向上と地域の雇用創出を目的とする事業です。

同拠点で生産されるトマトは、年間を通じ樹で十分赤くなってから収穫・出荷できるため、食味の向上と安定供給を両立できるものと期待を寄せています。

当日は、国や行政、地域の方々をお迎えしてオープニングセレモニーを開催し、施設の内覧や収穫体験、試食を行う予定です。



【栽培技術の特徴】

- ①低段密植栽培による周年栽培、②温度・光・水・二酸化炭素を24時間自動管理する閉鎖型育苗、③夏季の冷房と冬季の加湿用途に好適な細霧冷房、④冬季の化石燃料使用量を5年間で約3割削減できる木質ペレット暖房、⑤生産性向上に有用な二酸化炭素の施用、⑥ICTによる統合環境制御を活用することで天候の影響を受けにくいことが特徴です。また、同拠点の構造は風雨や積雪に強いことから、従来の農業では弱点だった天候に対する備えにより生産と雇用の安定が図られ、環境にも配慮した新しい農業を具現化します。

【6月4日：次世代施設園芸埼玉拠点オープニングセレモニーのスケジュール】

- 10:30 ~ 10:40 主催者挨拶
- 10:40 ~ 10:55 来賓祝辞
- 10:55 ~ 11:00 来賓・祝電紹介
- 11:00 ~ 11:12 テープカット
- 11:12 ~ 11:45 内覧・試食

【次世代施設園芸埼玉拠点の概要】

- ◇ 所在地 : 埼玉県久喜市六万部91
- ◇ 従業員数 : 社員8名、パート70名（5月8日 現在）
- ◇ 農地面積 : 3,3ヘクタール
- ◇ 栽培品目 : 大玉トマト（桃太郎ヨーク他）
- ◇ 栽植密度 : 約6,000本／10アール、株間18センチメートル
- ◇ 栽培株数 : 547,000株
- ◇ 目標収量 : 年間990トン（30トン／10アール）
- ◇ 販売先 : 埼玉県内をはじめ関東近県のイオングループ各店舗

【イオンアグリ創造株式会社について】

- ◇ 商号 : イオンアグリ創造株式会社
- ◇ 代表者 : 代表取締役社長 福永 庸明
- ◇ 本社 : 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
- ◇ 設立日 : 2009年7月10日
- ◇ 事業内容 : 青果物の生産、加工、卸売、小売
- ◇ 決算期 : 2月末日
- ◇ 資本金 : 5,000万円
- ◇ 株主 : イオン株式会社100%

イオンアグリ創造株式会社は、2009年7月に設立。同拠点を含む全国21箇所の直営農場では、世界で最も普及している適正農業規範「グローバルGAP」の認証を受けた慣行農産物（イオン農場ブランド）の生産供給。また、全国に約100団体のパートナー農場と、一部の直営農場から、有機JAS認定を受けたオーガニック農産物（「トップバリュ グリーンアイ」オーガニックブランド）の生産供給に取り組むイオン株式会社の連結子会社です。

直営農場の耕作面積は、2017年時点で350ヘクタール。イオンの社員が地域の皆さまと力を合わせて約40品目を生産し、パートナー農場を合わせて、年間100品目の農産物を生産供給しています。

地域密着経営というイオンの基本理念のもと、お客さまにご満足いただける農産物の生産はもちろんのこと、持続可能な未来の農業の発展を目指し、各地域で雇用機会の創出による担い手不足の解消や耕作放棄地の解消、また希少品種や伝統的な作型の存続に積極的に取り組んでいます。

以上